

# 全共 帯広畜産大学原虫病研究センター

## National Research Center for Protozoan Diseases

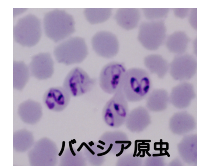
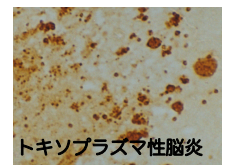
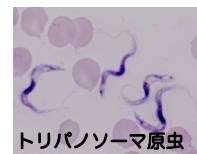
### センターの概要

我が国の獣医・畜産系大学で唯一の全国共同利用施設で、家畜原虫病と人獣共通原虫病の制圧に関する研究拠点として、原虫病に関する総合的研究を推進している。基礎部門、応用部門、大動物特殊疾病部門、国際監視部門からなり、獣医学科、畜産学科、大学院の教育研究指導や国際協力機構の研修コースも実施している。平成14～18年度には文部科学省の「21世紀COEプログラム」の研究教育拠点に選定、19年5月には国際獣疫事務局（OIE）のレファレンス・ラボラトリーに認定された。



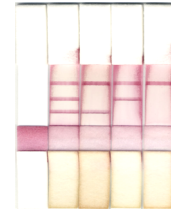
### 原虫病の重要性

- ・ 寄生虫の仲間、単細胞の病原体である
- ・ 人や動物に寄生し、重大な病気を引き起こす  
マラリア、トリパノソーマ、トキソプラズマ、バベシア
- ・ 世界的規模で家畜の生産性を低下させ、甚大な経済的被害  
しかし、有効なワクチン・薬剤が少ない  
⇒新規の診断、治療、予防法の開発が重要

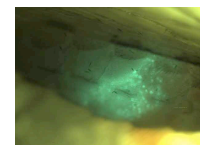


### 研究内容・特色（原虫病制圧戦略）

- ・ 原虫ゲノム解析：トキソプラズマ、バベシア
- ・ 遺伝子の役割：有用遺伝子の検索⇒診断薬、治療薬、ワクチン
- ・ 原虫の生物学：原虫が細胞や組織に侵入・増殖する仕組み
- ・ 診断法の開発：正確かつ迅速な国際的標準の原虫診断技術
- ・ ワクチン：遺伝子改変原虫、自殺型原虫ワクチン
- ・ 吸血性節足動物：カやダニ体内の原虫の発育機構、防御機構



2種のバベシア感染を同時に検出可能な診断法



ハマダラカ内のマラリア原虫のオオシスト（緑）

### 教育・国際貢献

- ・ 獣医学教育：講義・実習（原虫病、寄生虫病など）  
卒業研究、博士論文の指導
- ・ 国際協力機構（JICA）研修コース（1995-2007）30ヶ国118人
- ・ 国際獣疫事務局（OIE）のレファレンス・ラボラトリー  
原虫病では我国で唯一の認定機関  
ウマピロプラズマ病、ウシバベシア病（世界で唯一の認定機関）  
スーラ病（アジアで最初の認定）



海外からの研究員



連絡先：〒080-8555、帯広市稲田町西2線13  
帯広畜産大学原虫病研究センター  
センター長 五十嵐郁男